

# カーネーション

市政便り 2021 新春号 Vol.12

公明党 京都市会議員

## かわしま 優子



伏見の未来を創る  
実現するチカラ！

「つながり“支え合う”社会」をめざして!

新型コロナウイルスの感染拡大を機に、一人一人と  
社会のつながりの大さが浮き彫りになりました。  
誰一人取り残さない社会の構築を目指して、必要な  
支援やサービスへつながる仕組みづくりや、さまざまな  
制度の安定性や持続可能性を高める支え合いの基盤  
強化に引き続き取り組んでまいります。

この印刷物は環境に配慮し、ビニールを使わないチラシ着方式で作成しています。

差出人

〒612-8083 京都市伏見区京町 10 丁目 15-7  
TEL 080-9804-9844 FAX 075-320-1776

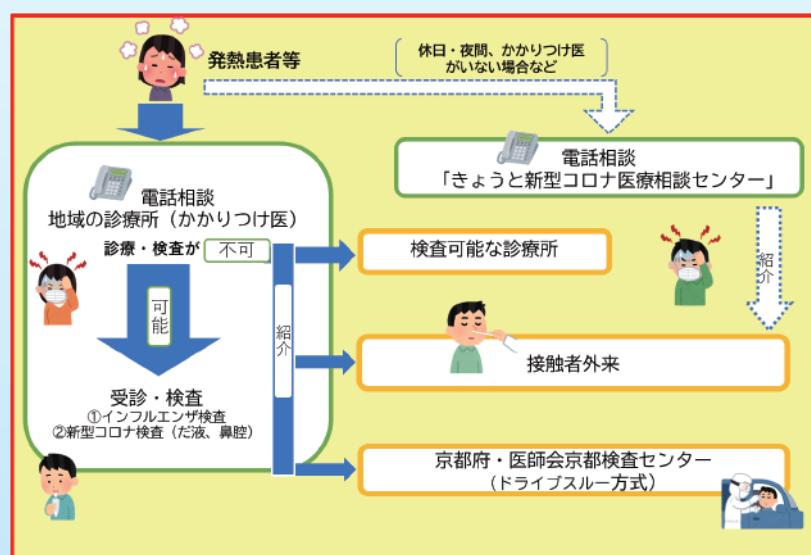
かわしま優子 公式WEBサイト  
<https://kawashima-yuko.jp>



## 発熱等の症状のある方の相談・受診・検査のご案内

熱がある、体がだるい・のどが痛いなど、  
風邪の症状があるときは、  
身近な医療機関に、まずはお電話でご相談ください。

休日・夜間など受診できる医療機関がないとき、かかりつけ医のない方は、  
**きょうと新型コロナ医療相談センター**  
☎ 075-414-5487  
受付時間 土・日・祝日を含む24時間  
まで、ご相談ください。



(令和2年12月20日現在の情報です)



## 「救急安心センターきょうと (#7119)」

「救急車を呼んだほうがいいのかな？」  
「今すぐ病院で診てもらったほうがいいのかな？」  
「今診てもらえる病院はどこ？」など、「急な病気」や  
「けが」で迷ったときは、24時間365日電話で看護師に  
相談できる「救急安心センターきょうと (#7119)」が、  
府市協調で実現しました！  
令和2年10月1日より運用が始まっています。

あくまで看護師等による相談・助言を目的としています。  
呼吸をしていない、脈・意識がない、大量に出血している  
などの場合や、緊急と思ったときは、

## ためらわずに119番通報

をして救急車を呼んでください。

## 本会議 代表質問

### ● デジタル・ミニマムを基本理念としたデジタル化の取り組み

デジタル化が進む中、あらゆる人が恩恵を受けられるように、高齢者や子どもたちと学生への配慮として、「敬老Wi-Fi」「Study Wi-Fi」(仮称)等の制度を検討するなど、「誰も取り残されないように」進めていくことを提案

### ● 働き方改革に向けたテレワークの推進

### ● 防災士による防災力の向上に向けた取り組み

### ● こころの病気を正しく知って適切に対応するための「メンタルヘルス・ファーストエイド」の普及と子どもたちへのメンタルヘルス教育の充実

### ● コロナ禍における産前・産後ケアの充実

コロナ禍の中で、リスクを抱えながら子どもを産み育てておられるお母さんたちの、孤立化によるストレスや不安を軽減するための取り組みを提案



## 心の応急対応「メンタルヘルス・ファーストエイド」

友人やご家族など身近な人が悩みやこころの不調を抱えているとき、専門家による支援の前にできる5つの行動支援が「メンタルヘルス・ファーストエイド」です。「りはあさる」と覚えられ、5つのステップがあります。

### 1 リスク評価(り)

声をかけ自傷・他害のリスクがないかを評価

### 2 判断せず、批評せずに話を聞く(は)

決めつけず、批評をせずに話を聞く

### 3 安心と情報を与える(あ)

安心を与え、正しい情報を提供する

### 4 サポートを得るように勧める(さ)

専門家のサポートを勧める

### 5 セルフヘルプ(る)

自分でできる対処法を勧める



こころの病気は特別な人がかかるものではなく、誰もがかかる可能性のある病気です。

こころの病気になった場合も、体の病気と同じように、早期に治療を受けることが大切です。

そのためには、こころの病気について意識や関心を高め、偏見を無くし、正しい知識を普及することが必要と考えます。

## 話す、聴く。それだけで救える命がある。

### [京都市こころの健康増進センター相談専用電話]

● 自死遺族・自殺予防こころの相談電話「きょう・こころ・ほっとでんわ」

**TEL.075-321-5560** 年中無休24時間実施

● こころの相談専用電話

**TEL.075-314-0874**

平日: 9:00~12:00, 13:00~16:00  
(土・日・祝日および年末年始をのぞく)

## 総務消防委員会

コロナ禍における防災・減災に向けた取り組みについて、質問を重ね、避難所運営の強化やコロナ対策備品の整備等要望を、数多く実現してきました。



## 予算要望を提出

令和3年度予算編成への要望書を門川市長に提出しました。

コロナ禍とあわせて大変厳しい財政状況の中で、各種事業を精査した上で、市民に寄り添う市政運営となる予算編成を要望。私からは、市政の見える化について要望しました。



## 通学路の安心・安全がさらに充実しました！

藤城小学校の通学路にある側溝に柵が設置されました。急な坂道にある深い溝で転落の危険があることから、ポールを立てるなどして注意喚起をしてきましたが、このたび柵を設置をいただき、より安全になりました。

この通学路はこれまでから、地域の方に子どもたちの安全を守るために様々な要望をいただき、街灯の設置・溝蓋の滑り止めなど安全対策を進めてきました。

これからも、通学路の安心・安全に努めてまいります。



## 京都市の図書館全館に、書籍消毒機が設置されました！

消毒機は、本に挟まった髪の毛やほこりを送風で除去するほか、紫外線で殺菌し、たばこやペットなどの臭いも取り除くことができます。家庭用の電子レンジのような形で、本をセットして電源を入れると、約60秒で終了します。

地元のアレルギーを持つ方から相談を受け2017年9月の決算特別委員会で書籍消毒機の導入を主張し、その後も粘り強く要望を重ねてきました。

このたび、感染症の拡大により、本を借りるのをためらう方が安心して利用できるよう導入されました。

